

55 練馬の魅力づくりと練馬ならではの観光の推進

(1) 「練馬ならではの魅力」の発信

●広報キャンペーンの実施

1 みどりを育むムーブメントのPR

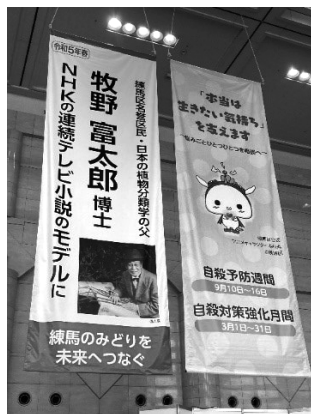
民有地のみどりを地域で守る「落ち葉清掃ボランティア」事業や、農の情報を発信するアプリ「とれたてねりま」のリリース・区役所アトリウムへの農産物自動販売機の実施にあわせて、区の魅力である“みどり”への関心をさらに高めるため、ノベルティの制作・配布や、配信事業者を使ったニュースリリースを行った。

また、4年3月に開催されたSEIBU Green Marchéに出展し、都市農業やみどり、観光情報を発信した。



2 練馬区名誉区民「牧野富太郎博士」関連のPR

NHKが5年春から放送する連続テレビ小説に、牧野博士をモデルにしたドラマが決まったことから、区民にいち早く周知するため、「号外」ちらしの配布や、区役所内での懸垂幕とのぼりの掲出を行った。



(2) 「練馬ならではの観光」の推進

住宅都市として発展してきた練馬区は、観光都市のような経済効果のある観光資源はあまり多くない。

しかし、日常の中にきらりと光る特色ある資源や、これまで育まれてきた伝統や映画・アニメなどの多彩な映像文化がある。これらを磨き価値を高め、特色ある区の魅力として広く発信していく必要がある。

●練馬の魅力を体感できる仕組みづくり

1 観光案内板の設置

区内の鉄道20駅に1基ずつ観光案内板を設置している。区内の観光スポット、名所、区立施設などを紹介することで、区民や来訪者に練馬区の魅力を発信している。観光案内板には、地図情報のほか、練馬区ゆかりのアニメを活用し、区の魅力を発信している。

※観光案内板の設置駅：

練馬区内にある西武池袋線、西武新宿線、西武豊島線、西武有楽町線、都営大江戸線、東京メトロ有楽町線・副都心線、東武東上線の各駅

2 練馬の魅力の発信

練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」を活用し、区の魅力に関する情報を区内外に発信している。

ねり丸が平成23年3月に誕生してから10周年を迎えたことを記念し、ねり丸10周年記念展示事業を実施した。

8月にねり丸ぬり絵の募集を行い、応募作品の一部やねり丸誕生までの紹介パネルを区民・産業プラザ産業イベントコーナーおよび図書館等で展示した。

3 ねりま観光センターの運営

区は、(一社)練馬区産業振興公社ねりま観光センターに、事業費等の補助を行うとともに、連携して観光振興事業を展開している。ねりま観光センターが3年度に実施した主な事業は、「ねりコレ2022」の募集および認定、体験型の観光ツアー、「練馬カプセル」等の観光ガイドの作成・配布、およびねり丸グッズの制作・販売などである。また、区内2か所に区が設置した観光案内所の運営を行っており、観光スポットやイベントなどの情報発信のほか、「ねりコレ」等区内名産品の販売を行っている。

〔観光案内所利用状況〕

3年度

名称	利用者数(人)
ねりま観光案内所	44,853
石神井観光案内所	40,887

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年4月25日から5月11日まで臨時休業とした。

この社会実験では、会員登録数が増加し続けていること、未実施地域や他自治体との相互乗入れの需要が高いことなどがわかった。

そこで、4年4月からは、「区内全域への拡大」と「他自治体との相互乗入れ」を行う新たな社会実験を実施している。

(3) 練馬の魅力を感じるイベントづくり

区民や区外からの来場者が参加・交流し、練馬の魅力を実感できる機会を創るため、区の2大まつりである練馬まつり・照姫まつりを開催している。

●第44回練馬まつり

出展やステージイベントなど、多様なイベントを開催している。3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

●第34回照姫まつり

華やかな時代衣装を身にまとった照姫を中心に、勇ましい鎧姿の武者などで構成された約100人が照姫行列を行っている。3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

●アニメプロジェクトin大泉

ジャパンアニメーション発祥の地である大泉地域で毎年開催している。3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

(4) 風を感じるまちづくり

●散策しやすいまちづくり

区では、都市計画道路や生活幹線道路などの新設に当たり、バリアフリー化を図っている。併せて、地域の景観に配慮した緑化、無電柱化、街路灯などの施設整備による道路の質の向上を図り、安全・安心で散策しやすいまちづくりを進めている。

自転車は、区内に散在する地域資源を巡るうえで適した交通手段である。このため、都市計画道路の整備に際しては、自転車専用通行帯等の設置を進めている。

●シェアサイクル事業の社会実験

シェアサイクルは、同じ事業者のサイクルポートであれば、いつでもどこのポートでも自転車の貸出・返却ができるレンタサイクルシステムである。

区では、平成29年10月から区内の一部地域でシェアサイクルの社会実験を実施してきた。